



1. 活動日時：2015年3月28日（土） 10:00~15:00
2. 参加者：9名（現役GS：5名 社友GS：4名）
3. 活動内容
 - ・今回は、3月14日のSGC活動が雨で中止になったことから、SGCと社友会のチーム神於山との合同活動日となりました。
 - ・当初は、竹林の整備をメインに考えていましたが、年度末でもあり、新年度好スタートを切るために、倉庫の在庫の棚卸と、今後の森づくりに欠かせない資機材の洗い出しにウエイトを置き、竹林については状況の把握に止めました。
 - ・棚卸は、倉庫の在庫を一旦全て運びだし、一点一点徹底的にチェックする形で進めましたので時間がかかりましたが、購入する必要がある資材が絞れたのが収穫でした。
 - ・これで4月からは腰を据えた活動が出来そうです。
 - ・活動頂いた9名のGSの皆さん、お疲れ様でした。
4. 今後の活動
 - ・4~5月は、竹林の整備に汗を流します。
 - ・久しぶりに力仕事になりますが、奮ってご参加ください。

■竹林の状況把握 沢筋の竹の間伐と積みあげた間伐竹の整備が課題です。タケノコは、イノシシが例年通り荒らしています。



間伐の対象は沢筋の急斜面で、注意が必要です。



伐って積みあげていた竹が崩れ始めていて危険な状態です



間伐した箇所には、新たな植物が芽吹いています。



イノシシのヌタ場。あちこちで砂浴びをしているようです。



タケノコの掘り跡。イノシシには綺麗です



遊歩道沿いも掘られています。

- ・竹林は、沢筋の急斜面の間伐と、崩れ始めて危険な状態になっている過去に伐って積んでおいた古竹の処理が課題です。
- ・イノシシは、あちこちでヌタ場を作り、タケノコも掘っているようですが、中には、頭の黒いイノシシもいる様です。

■倉庫の在庫総点検

倉庫の在庫を全て運びだし、二班に分かれ、一点ずつ 機材の状態を見ながら確認しました。



- ・倉庫の在庫の棚卸は、虫干しを兼ね、倉庫に入っているものを全て運びだして実施しました。
- ・チェックは入念で、使えるものと使えないものの分別も併せて行いました。
- ・鋸やナタは、本体が使えなくなって廃棄したため鞘だけが残っているものがあります。
- ・植栽の成長に伴い、鎌や鋏の出番は少なくなり、その分剪定用の鋸や、鉋、除伐した木の枝払い用の太枝切り鋏などが必要な機材にノミネートされました。

《新規購入機材》

品 種	個数
剪定用鋸 24cm	2 本
〃〃 27cm	3 本
ナタ (片刃)	2 丁
太枝切り鋏	2 本
倉庫内照明用電池	単 3

■活動頂いた 9 名のGSの皆さん。

勝手の違う作業でしたが、きっちりと仕上げて頂きました。お疲れ様でした。



- ・倉庫の中身を全て出してみても、結構な数量であることに驚きました。
- ・また、中にはGSの皆さんからの寄贈品も多く、力の入り具合を知りました。
- ・使う道具も、植樹した木の成長につれて作業内容が変わり、変化してきています。
- ・フクロウの棲む森づくりを進めるためには、エリア内の植生や、生態系の調査などの実態把握も進めないといけません。
- ・神於山保全くらすの田口事務局長からは、炭焼きなど活動のコラボレーションの提案も頂いています。
- ・お楽しみはこれからの様です。

■昼は、社友 GS の山本さん振る舞いのカレーを、釜炊きご飯で頂きました。マイウーでした。



■神於山は、春爛漫の兆しです。

シイタケは豊作の様ですし、ヤブツバキ、シダレザクラも花盛りの兆しです。



ヤブツバキは、大きな花を咲かせています。



シダレザクラも枝を広げ、名前の通り枝垂れ始めました。あと5年も経てば、神於山の名物になります。



シイタケも豊作です。



リョウブも新芽を広げ始めています。